

まちを守る消防団

【問い合わせ先】 危機管理課消防団係 (☎ 42 - 9111 内線 1421)

皆さんは消防団を知っていますか。「消防職員と何が違うの?」という人もいるかもしれません。消防団員は皆さんと同じ市民で、普段は自分の仕事をしながら火事や災害が起こった時には、現場に駆け付け災害対応にあたります。今回はこのような活動を通して、まちを守る消防団を紹介します。



市内防火啓発パレード出発式の様子▲

消防団とは

消防職員と消防団員の違い

消防職員は、仕事として災害に備え24時間体制で勤務しています。

それに対して、消防団員は、普段は自分の仕事をしながら、災害発生時にはいち早く現場に駆けつけて、消防職員ともに対応します。

消防団の活動とは

火災の時には、消防署と協力して消火活動を行います。また、地震や台風ときには、地域の人の避難誘導や救助活動を行うなど、さまざまな災害現場で活躍しています。

また、有事のときに迅速かつ確実に対応するために、普段から、定期的な訓練・消防ポンプ点検などを行っています。

地域に密着した存在

消防団の活動は、火災や災害時の対応だけでなく、消火器の取り扱いなど自主防災会や地域住民への防災指導、地域の見回りや年末の夜警などによる火災の予防活動、啓発

活動、また大神神社・長谷寺・談山神社の防災訓練への参加や地域のとんどの見守りなど、地域に密着した活動も行っています。

自らが住む地域のために

桜井市消防団は、消防団長・副団長を筆頭に、桜井一・桜井二・粟殿・朝倉・安倍・三輪・織田・纏向・豊田・大福・初瀬の11の「分団」、分団の中でも地域ごとに30の「一部」で構成されています。また、主に広報活動を担当する「女性部」もあります。

それぞれに所属している消防団員は、ほとんどの人がその地域に住む市民です。自らが住む地域は自らで守るという、地域への愛に溢れた思いから活動にあたっています。

有事の時に迅速かつ確実に対応できる消防団は、それぞれの地域にとって欠かせない存在です。



防災指導の様子▲



年末警備の出発式での様子▲



消防ポンプ一斉点検の様子▲

わたしたち、消防団員です！



織田分団 機動部 団員

まえだ ひろゆき
前田 宏行 さん

織田分団機動部の団員である前田宏行さん。消防団には、当時の分団長から誘いを受け、入団しました。21歳、消防団活動歴2年と、分団の中でも若手です。

普段は「三輪そうめん大三輪山」の代表者としてそうめんを製造しており、消防団のことは詳しく知りませんでした。入団するまでは、上下関係が厳しいという印象を持っていた前田さん。実際に入団してみると、先輩団員は後輩団員に優しく、面倒を見てくれる人ばかりで消防団を通して人との繋がりが増えました。

消防団活動を通して、印象に残っている出来事は、年末年始に大神神社で行われるにょうどうさい繞道祭の警備です。「年末年始に消防活動をしながらかつ過ごすのが初めてで新鮮だった」と振り返りました。

入団からこれまでの経験を通して、前田さんは「消防団の活動は大変だ、と皆さんに根付いている印象を払拭し、自分と同世代の団員が増えてくると嬉しい」と思いを語ります。



▲放水訓練の様子



豊田分団 分団長

みぞぐち とみお
溝口 富男 さん

豊田分団で分団長を務める溝口富男さん。消防団には、地元で貢献したいという思いから入団しました。76歳、消防団活動歴35年と、分団の中でも最年長の大ベテランです。

普段は自動車の整備士として働いていますが、訓練や現場では3つある傘下の部の団員に指示を出します。また、活動には所属する分団以外に、他の分団と協力し行うものもあるため、横の繋がりが大切だと溝口さんは言います。互いを高め、助け合う心を常に持ちながら活動に取り組んでいます。

消防団活動を通して、印象に残っている出来事は、奈良県消防大会です。役立つ知識や消防団同士の意見交換の場があり、「参加して本当によかった。ぜひみんなにも参加してほしい」と経験を語ります。

活動をしていく中で、溝口さんは「新入団員が減っていることが心配、消防団が行っている活動を通して、たくさんの人に興味を持ってもらいたい」と思いを語ります。



▲訓練で指揮する様子



桜井市消防団公式 Instagram ▲

消防団出初式での女性部 ▲

女性部の活動とは

女性消防団員が所属する桜井市消防団女性部には、現在8名の団員が所属し、救命講習の指導や消防団の広報を担っています。

目の前の命を救えるように

女性部の発足は平成11年。発足当初から力を入れている活動が、救命講習の指導です。心肺蘇生法やAEDの使用方法などを教えることができる「応急手当普及員」の資格を6名が取得し、消防団員や一般の人に指導しています。「身近な人や大切な人を、いざという時に救えるように。より多くの人に広めたい」と、部長の吉川喜三子さんは話します。

知ってほしい、消防団のこと

もうひとつ、力を入れている活動が広報活動です。毎年9月の「救急の日」に合わせた啓発活動や、子ども向けの防災がテーマの紙芝居を行っています。また、新型コロナウイルスの影響で活動できない時期が続きました。そんな中

始めた活動が、Instagramを使った情報発信です。

「旅行と酒、という消防団の従来のイメージを変えたい」と、発案した班長の西本由香さん。消防団の年中行事や訓練に足を運び、その様子を伝えます。

女性部による取材は、他の消防団員からも「訓練に緊張感が増す」と好評です。「地域のためにいろいろなことをしている団員さんには頭が下がっている。その様子をより多くの人に伝えられたら」と、西本さんは決意を新たにします。

一緒に楽しめる仲間を募集中

「防災について学ぶことができたり」「地域や行政とつながりができて普段できない体験ができた」など、消防団活動のやりがいを話す女性消防団員の皆さん。「Instagramを見て少しでも興味があれば、女性部の訓練をのぞきに來てください」と話します。



広報活動の様子 ▲



救命講習の様子 ▲



出初式の表彰式での様子 ▲

このような活動もしています

全国火災予防運動期間中に行う啓発・広報活動



① 春季火災予防運動合同訓練

消防団と消防署の連携を高めるため合同訓練を実施しています。

② 市内防火啓発パレード

消防車両 14 台が市内を 3 班に分かれて防火啓発パレードを行っています。

寺社での警備・警戒活動



③ 繞道祭警備 (大神神社)

ご神火の祭典で、参拝客の人が安心安全に参拝できるよう警備しています。

④ だだおし警備 (長谷寺)

鬼追いの儀式で、松明から出た火の粉で火災が発生しないように警備しています。

文化財防火週間に行う防火訓練



長谷寺にて▲



大神神社にて▲



談山神社にて▲

あなたも消防団員になりませんか

自分たちの地域は自分たちで守り、住みよいまちを作るため、消防団に入団し、地域のために活動してみませんか。



▶ 対象

市内在住・在勤(学)で 18 歳以上 45 歳未満の健康な人

▶ 活動内容

火災・水災・地震などの現場活動、火災予防、広報・警備、訓練・救命講習など

▶ 待遇

年額・出勤報酬、公務災害補償、退職報償金、表彰制度

【申し込み・問い合わせ先】

危機管理課 (☎ 42-9111 内線 1421)

消防団長からのメッセージ

市民の皆さんには、日頃より消防団活動にご協力をいただきありがとうございます。

消防団は、火事などの有事のときに「地域密着」という消防団の特性を活かし、迅速・確実に初動に対応することを重視しています。

しかし、近年は「風水害や地震など災害が複雑多様化し、対応に負担が増えていること」また、「サラリーマン化などの影響で団員が減少していること」から、十分な消防団活動が難しい状況にあります。

皆さんの入団を待っています!

消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛で活動しています。

皆さんも桜井市を守る仲間として、消防団で活動しませんか。



よねのこうじ 米野廣次消防団長▲